

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	環境教育
対象	環境教育サブプログラム

受験番号					

問 I 以下の用語について日本語で説明せよ。

① 30 by 30 (サーティ・バイ・サーティ)

【解答欄】

〈解答例〉

2022 年の生物多様性条約第 15 回締約国会議で採択された「昆明・モントリオール枠組」の中で位置づけられた目標の 1 つ。2030 年までに陸域及び水域の少なくとも 30%を保護地域や OECM として、効果的に保全・管理することがそのターゲットとして位置づけられている。

② PFAS

【解答欄】

〈解答例〉

有機フッ素化合物の総称。近年、日本各地の河川や地下水から高濃度で検出されており、生活用水として利用されてきたことから、人体への影響が懸念されている。

③ マングローブ

【解答欄】

〈解答例〉

熱帯、亜熱帯の河口など、淡水と海水の混ざり合う潮間帯・汽水域に生育している植物の総称。世界中で 70 種類以上ともいわれる。マングローブ林は炭素貯留量の多さから、CO₂ 吸収の役割が注目されているが、近年、過剰な伐採や開発により急激に面積を減らしつつある。

④ フードマイレージ

【解答欄】

〈解答例〉

食物を生産された地点から消費される地点へ移動させる際にかかる二酸化炭素排出量などの環境負荷を表す概念である。移動距離と重量と輸送手段に関わる排出係数を掛け合わせて算出する。フードマイレージが小さいほど、環境に対する負荷は小さいと考えられる。グローバル化の進展に伴い、フードマイレージは急速に増大しており、なかでも日本は総量でも国民一人あたりの量でも世界で最も大きな値を示している国となっている。

⑤ 環境と開発に関する国際連合会議

【解答欄】

〈解答例〉

グローバル・サウスの貧困撲滅と地球環境保護の両立を目指す持続可能な開発に向けて 1992 年にブラジルのリオデジャネイロで開催された国連主催の国際会議。地球サミットとも呼ばれる。「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言」と「アジェンダ 21」が採択され、「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」の署名が開始された。

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	環境教育
対象	環境教育サブプログラム

受験番号					

問Ⅱ

日本では、1990 年代初頭に文科省が『環境教育指導資料』を刊行し、学校教育の中に環境教育を位置付ける姿勢が示された。また、1999 年に告示された学習指導要領で「総合的な学習の時間」が創設され、その中で扱うテーマとして「環境」が位置づけられたことで、学校教育における環境教育が推進されてきた。その後、2008 年には日本学術会議で改めて「環境」または「環境教育」として独立した教科を設ける「環境教育の教科化」について議論されたものの、最終的な提言「学校を中心とする環境教育の実現に向けて」には盛り込まれず、実現には至っていない。日本の学校教育における環境教育の実践状況を踏まえて、「環境教育の教科化」について、自身の考えを述べるとともに、教科化すること／しないことの意義や課題について論ぜよ。解答は日本語で解答欄に記述すること。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用しても良い。その際には、裏面にも解答が続くことを明記すること。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

日本の学校教育における環境教育の現状が具体的な事例を踏まえながら適切に捉えられていること。その上で、「環境教育の教科化」の有無における意義と課題が自身の考えと関連付けながら、論理的に説明されていること。